

原発の再稼働を考える コメント

西尾 漠

CNIC連続ウェブ講座(4)

2021・8・24

7月28日付の電気新聞で自民党の山際大志郎衆議院議員は、

——今回、新增設・リプレースを書き込む必要はなかったのか。

「30年までにそうした可能性があるのに記載しないのであれば問題だが、再稼働が進んでいない。

まずはそこに最大限注力すべきで、その後にリプレースが必要になるというのがコンセンサスだ」

原子力発電所の現状(ケーススタディ)

	設備利用率 70%	設備利用率 80%
再稼働 10 基	約 610 億 kWh	約 700 億 kWh
設置変更許可+理解表明 3 基	約 150 億 kWh	約 170 億 kWh
設置変更許可 3 基	約 230 億 kWh	約 270 億 kWh
新規制基準 審査中 11 基	約 700 億 kWh	約 800 億 kWh
未申請 9 基	約 590 億 kWh	約 670 億 kWh

主な個別地点の状況（許可申請済）

設置変更許可済＋地元理解表明：3基

東北電力 女川原子力発電所2号機（BWR）

- ・ 安全対策：原子炉設置変更許可済（2020年2月）工事完了予定は2022年度中
- ・ 防災対策：緊急時対応を策定（2020年6月）
- ・ 地元理解：宮城県、女川町、石巻市が、再稼働に対する理解表明（2020年11月）

関西電力 高浜発電所1・2号機（PWR） ※いずれも40年超運転

- ・ 安全対策：1号機の安全対策工事は完了、2号機は工事中。
1・2号機とも特重施設の工事中。
- ・ 防災対策：高浜地域の緊急時対応を策定（2015年12月） ・改訂（2020年7月）
- ・ 地元理解：高浜町が、再稼働に対する理解表明（2021年2月）
福井県が、再稼働に対する理解表明（2021年4月）

設置変更許可済：3基

東京電力 柏崎刈羽原子力発電所6・7号機（ABWR）

- ・ 安全対策：7号機の安全審査は終了したものの、核物質防護設備の機能の一部喪失事案等について、規制庁による検査等に対応中
- ・ 防災対策：緊急時対応を地域協議会で検討中、住民参加の実動訓練を実施（2020年12月）に加え、個別訓練を複数回実施

日本原電 東海第二発電所（BWR） ※40年超運転

- ・ 安全対策：設置変更許可、工事計画認可済（2018年10月）。工事完了予定は2022年12月
- ・ 防災対策：緊急時対応は値域協議会で検討中